TOSCO Co., Ltd

製品安全データシート

改訂日：2014年4月11日

1. 化学物質等及び会社情報

製品分類　：Thermochromic Pigments BPA-containing
製品番号　：TT201BC
会社名　：株式会社トスコ
住所　：〒101-0047 東京都千代田区内神田3-5-5 大同ビル401
電話番号　：03-5295-6316
緊急連絡先　：03-5295-6316
FAX番号　：03-5295-6311
推奨用途及び使用上の制限　：試験研究用試薬。工業用原料。

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

可燃性固体	：分類できない
自然発火性固体	：分類できない
自己発熱性化学品	：分類できない
金属腐食性物質	：分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	：区分外
急性毒性（経皮）	：区分外
急性毒性（吸入：気体）	：分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	：分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	：分類できない
皮膚腐食性・刺激性	：区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分1
呼吸器感作性	：区分外
皮膚感作性	：区分1
生殖細胞変異原性	：区分外
発がん性	：区分外
生殖毒性	：区分2
授乳に対する影響	：分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	：区分1（呼吸器）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	：区分2（肝臓、腎臓、呼吸器）
吸引性呼吸器有害性	：分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	：区分3
水生環境慢性有害性	：区分外

【GHSラベル要素】

[絵表示]

[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

- 重篤な眼の損傷
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- 臓器（呼吸器）の障害
- 長期にわたるまたは反復暴露による臓器（肝臓、腎臓、呼吸器）の障害
- 水生生物に有害

[注意書き]

〔安全対策〕

・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
　この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・ 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
・ 環境への放出を避けること。

〔救急処置〕

・ 皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗うこと。医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合： 医師の診断／手当てを受けること。
・ 眼に入った場合： ただちに医師に連絡すること。水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
・ 暴露または暴露の懸念がある場合： 医師に連絡すること。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

〔保管〕

・ 施錠して保管すること。

〔廃棄〕

・ 内容物や容器の廃棄を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

成分名、CAS番号および含有量 ：

成分名	CAS No.	含有量 (w/w)
4,4'-イソプロピリデンジフェノール	80-05-7	1 - 10%
ホルムアルデヒド	50-00-0	< 0.03%

4. 応急措置

飲み込んだ場合

・ 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
・ 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

吸入した場合

・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・ 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

・ 皮膚を多量の水で洗うこと。
・ 医師の診断／手当てを受けること。
・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合

・ ただちに医師に連絡すること。
・ 水で数分間注意深く洗うこと。
・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

暴露または暴露の懸念がある場合

　医師に連絡すること。
　気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

応急措置をする者の保護

・ 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

・ 情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

燃焼ガスには一酸化炭素等が含まれる。

特有の消火方法

散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項･保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外の立入りを禁止する。
風上から作業する。

封じ込め及び浄化方法･機材

粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。漏出した場所は水で洗い流す。

二次災害の防止策

関係箇所に通報し応援を求める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

[技術的対策]
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
よく換気された場所で使用する。
[安全取扱い注意事項]
皮膚、眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
本製品に接触したり、これの吸入、飲み込みをしてはならない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

[適切な保管条件]
風通しの良い冷暗所にて保管すること。
熱、着火源、直射日光を避けて保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度･許容濃度

化学名	管理濃度	許容濃度（産衛学会）		TWA	STEL(ACGIH)
4,4'-イソプロピリデンジフェノール	―	―	―	―	―
ホルムアルデヒド	0.1ppm	0.2ppm	0.24mg/m3	―	0.3ppm

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具:	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具:	防護服、安全靴又は安全ゴム長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態（形状）	: 粉末
融点	: データなし
沸点	: データなし
密度	: データなし
溶解度（水）	: 不溶
VOC含有量	: ごく微量
VOC－水分	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
引火点	: データなし
爆発限界	: 不明

10. 安定性及び反応性

安定性

製品は化学的に安定している。

危険有害反応可能性

データなし。

避けるべき条件

過度の加熱。直射日光。塵、埃に晒すこと。

混触危険物質

強酸化剤、強酸、強塩基。

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物。

11. 有害性情報

（GHSにおける健康有害性の分類）

急性毒性（経口）

「区分外」に該当する。

急性毒性（経皮）

「区分外」に該当する。

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）

「分類できない」に該当する。

皮膚腐食性・刺激性

「区分外」に該当する。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

「区分1」に該当する。

呼吸器感作性

「区分外」に該当する。

皮膚感作性

「区分1」に該当する。

生殖細胞変異原性

「区分外」に該当する。

発がん性

「区分外」に該当する。

生殖毒性

「区分2」に該当する。

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）

「区分1（呼吸器）」に該当する。

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）

「区分2（肝臓、腎臓、呼吸器）」に該当する。

吸引性呼吸器有害性

「分類できない」に該当する。

12. 環境影響情報

（GHSにおける環境有害性の分類）

水生環境急性有害性

「区分3」に該当する。

水生環境慢性有害性

「区分外」に該当する。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN番号　：　該当なし。

国内規制

陸上規制情報　：　該当なし。
海上規制情報　：　該当なし。

特別の安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

国内法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：

対象物質　；4,4'-イソプロピリデンジフェノール
分類　；第一種指定化学物質
政令番号　；1-37
政令名称　；4,4'-イソプロピリデンジフェノール（ビスフェノールA）

16. その他の情報

HMIS表示

健康障害の危険　：1（やや危険）
火災の危険　：1（200°F超）
反応性　：1（加熱すると不安定になる）

参考ウェブサイト

1) 経済産業省
2) （独）製品評価技術基盤機構

※この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料・文献等に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅した訳ではありません。従いまして、取り扱いには十分ご注意ください。また、記載内容はあくまでも情報の提供であり、いかなる保証をなすものではありません。